

# 平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年 月 日記入

基本目標	躍動し 魅力あふれる交流拠点都市をめざして	施策コード	33130
政策名(章)	第3章 利便性の高い公共交通網の確立をめざします	評価担当部	都市部
基本施策名(節名)	第1節 利便性の高い公共交通網の確立	評価担当課	都市交通計画課
施策名	人にやさしい交通環境の整備	課長名	石川敏美

## 1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

「交通バリアフリー法」に基づき誰もが利用しやすい交通施設の充実を図る。

## 2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		369,745	淵野辺地区拠点整備事業や上溝駅前広場用地購入事業等の完了にともなうもの。
人件費		19,562	
市民一人あたりの事業費	8,354	584	
合計	5,146,109	389,307	

\*人件費は、一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

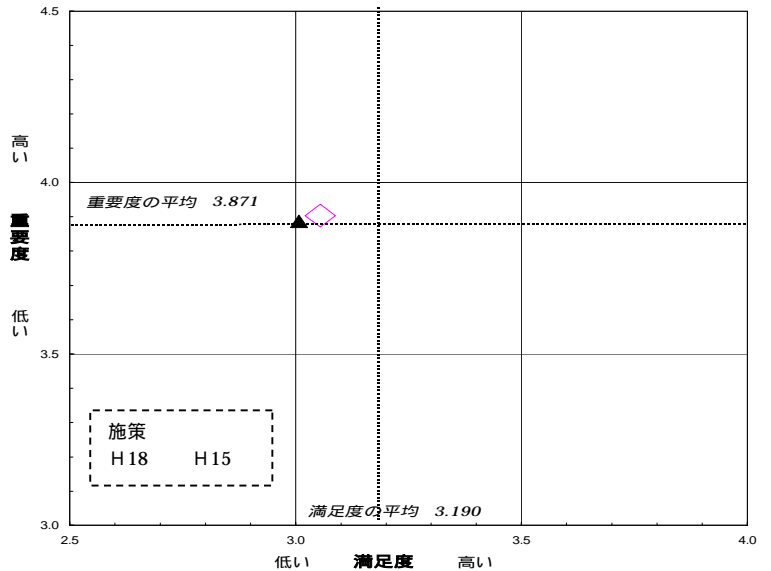
## 3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	駅エレベーター等の整備	整備済架所数(4駅H17現在) / 未整備架所数(6駅H12バリアフリー法施行年度)	整備率(66%)	17
指標2	バス活性化事業(バス停留所上屋設置事業)	上屋設置済箇所数(208H17) / 上屋の設置可能箇所数(230)	設置率(90%)	17
指標3				
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	50 / 66	19	83	21	100	交通バリアフリーに基づくもの。 (目標年次H22年)
達成率	132					
指標2	230 / 208	19	100	21	0	H19で完了
達成率	90.4					
指標3						
達成率	#DIV/0!					
指標4						
達成率	#DIV/0!					
指標5						
達成率	#DIV/0!					

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.054で51施策の中で46番目。  
 重要度は3.904で24番目である。  
 改善要望度は0.1190で18番目である。  
 年齢別にみると、満足度は70歳代以上でもっとも高く、30歳代でもっとも低くなっている。  
 重要度は50歳代でもっとも高く、40歳代でもっとも低くなっている。  
 前回調査と比較すると、満足度、重要度ともに施策の順位に大きな違いはみられない。  
 満足度の順位では、60歳代、70歳以上で前回調査より大幅に上がり、30歳代で大幅に下がっている。  
 重要度の順位では、50歳代で大幅に上がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 1	交通バリアフリー法に基づき、目標どおりの成果をあげている。	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	2 1	事業の投入コストが減少し、事業の成果は同程度である。	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 1	平均値と比較して満足度は低く、重要度は高い。今後、高齢社会を迎え、ますます重要度が高くなると考えられる。	
合計		8	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 B

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	障害者や高齢者等の利用者の意見を反映させる必要がある。
解決策	障害者団体等と調整する必要がある。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

事業の結果だけではなく、アンケート調査の実施など、施策目的に適合した成果を表す指標の設定を検討する必要がある。 今後とも市民ニーズを把握した中で、効率的・効果的な事業実施を図っていく必要がある。	2次評価 B
--	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向



人にやさしい交通環境の整備

コード 33130

構成事務事業一覧

構成事務事業	事務事業担当課	H15施策の優先順位	H15人員(人)	H14決算額(千円)	H18施策の優先順位	H17人員(人)	H17人件費(千円)	H17事業費決算額(千円)	H17決算額(千円)
公衆トイレ整備事業	清掃施設課	1	0.20	19,214	3	0.20	1,610	4,515	6,125
交通バリアフリー基本構想策定調査	都市交通計画課		2.00	20,914			0		0
上溝駅前広場用地購入事業	道路整備課	再掲	1.00	1,279,418			0		0
上溝駅前広場整備事業(継続費)	道路整備課	再掲	1.00	686,388			0		0
淵野辺駅北口駅前広場用地購入事業	道路整備課	再掲	1.00	116,702			0		0
淵野辺駅北口駅前広場整備事業	道路整備課	再掲	0.75	122,571			0		0
南橋本駅前広場整備事業	道路整備課	再掲	0.30	4,043			0		0
相模大野駅北口駅前広場エレベーター設置事業	道路整備課				2	0.20	1,610	60,270	61,880
民営鉄道駅舎垂直移動施設整備事業補助金	障害福祉課	再掲	0.01	8,333	5	0.00	0	0	0
淵野辺地区拠点整備事業	都市整備課	再掲	4.19	2,879,413			0		0
バス交通対策推進事業	都市交通計画課	再掲	0.08	4,786			0		0
バス活性化事業(再)	都市交通計画課	2	0.03	4,327	4	0.03	242	4,860	5,102
南橋本駅周辺交通施設整備事業(再)	都市交通計画課				1	2.00	16,100	300,100	316,200
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
							0		0
計			10.56	5,146,109		2.43	19,562	369,745	389,307
合計			10.56	5,146,109		2.43	19,562	369,745	389,307